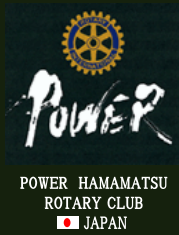


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

小さな歯車 地球を回す

RI 会長 ゴードン R. マッキナリー / 第 2620 地区ガバナー 中村皇積 / 会長 伊藤勝人 / 幹事 土屋公良
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC



第949回例会9月12日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間
- 司会：小田木基行 谷川修一 ■点鐘：伊藤勝人 ■週報：町田拓郎
- ロータリーソング：「夢のみずうみ」
- ゲスト：公益社団法人浜松青年会議所 副理事長 佐々木慎吾様
米山記念奨学生 ヤオ ファンボ さん
- ビジター：浜北ロータリークラブ 森島康之様、山下ひとみ様、
塩田靖弘様

出席報告/スマイル報告

会員数 71 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 54 名 出席率 77.14%

スマイル提出者
伊藤勝人会長、会員維持増強委員会、
会員選考委員会、知久武

会長挨拶

おはようございます。10 日夜、ラグビーワールドカップ「日本 対 チリ戦」があり、ラグビー音痴な私ですが、応援をさせていただきました。4 2 対 1 2 という圧倒的な勝利、五郎丸選手の満足げな表情が印象的でした。

そして先週は4, 5, 6日と、奥州平泉に行ってきました。中尊寺の金色堂、奥州藤原氏の黄金文化の象徴、名前の通り金色に輝き、夜光貝を用いた螺鈿細工、象牙や宝石、金箔の見事な装飾、平安時代の最高工芸でした。平泉は、砂金、砂鉄が採れ、莫大な富を得たのだそうです。

中尊寺の近くには、毛越寺(もうつうじ)があり、中尊寺と同じ年に創建されています。庭園が有名で、浄土の世界を表しているという日本庭園です。この庭園に源義経と弁慶、また、藤原氏の滅亡を偲んで詠んだ、松尾芭蕉の句碑があり、大変感慨深いものがありました。

「夏草や兵どもが夢の跡」

本日は、佐々木慎吾様より、ASPAC 誘致についての卓話を予定しています。今日も宜しく願いいたします。



幹事報告

- ①ロータリーの友をレターケースに入れてあります。ぜひご一読ください。
- ②以前当クラブのメンバーでありました長谷川隆是(たかゆき)さんが再入会なさいました。懐かしく思う方も、初めてという方も、どうぞ宜しくお願いいたします。また「古着でポリオワクチン」でございますが、皆様にご協力いただいた結果、残り 1 袋となりました。ありがとうございます。
- ③最近、コロナが再び感染を広げているようです。身近で大事に至った方は幸いにおりませんが、自主的なマスク着用と手洗いとうがいの励行をお願いします。健康が何より、例会は元気な笑顔でお会いしましょう。



委員会報告

■ロータリー財団委員会 財団プログラム部会

今年度、10月23日から10月28日を1回目、11月20日から11月25日を2回目として地区補助金事業子供食堂のお弁当配達を予定させていただいております。皆様にお弁当配達のお手伝いをしていただきたく、可能な日を教えてください。ご都合をお伺いするメールを近日中に流させていただきますので、ご協力の程お願いいたします。



■米山奨学金授与 ヤオ・ファンボ さん

皆様、おはようございます。

パワー浜松ロータリークラブの奨学生となり5ヶ月が経ちました。先月の活動では、コロナウイルス感染症が増えているため、奨学生としての活動推進と、(奨学生で)よかったというのを掲載させて頂きました。

つくば市で開催された米山ロータリー同窓会、大会に参加をしてきました。以前奨学生であった「シンさん」に会いましたが、シンさんから皆さんにご挨拶してください、とお願いされました。三島市で行う活動にも参加してきました。今後ともよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。



■入会式 2名の新会員が入会されました。



武井 政倫さん



小笠原 香織さん

議事

■浜松 JC から佐々木副理事長をお呼びしております。JCの大きな大会は3つ、世界会議、ASPAC、全国大会とあります。浜松 JC では全国大会を2回実施しましたが、世界会議と ASPAC はまだ開催しておりません。現在 ASPAC 開催地で新潟 JC と一騎打ちになっており来月に最終決定します。本日は誘致の関係をお話していただきます。

■公益社団法人浜松青年会議所 副理事長 佐々木慎吾様 卓話

おはようございます。佐々木と申します。本日は青年会議所の ASPAC というものの誘致についてお話させていただきたいと思います。

ASPAC というのは、アジア太平洋地区の会議です。アジアパシフィックエリアカンファレンス。ちなみに、青年会議所の世界団体は世界を四つに分けておりまして、アフリカ、中東エリア、アジア太平洋エリア、ヨーロッパエリア、アメリカエリアという風にわかれており、そのうちの1つのエリアの会議です。さらに大きな大会があり、世界会議というものがございます。

ASPAC って何をやるの? といいますが、いろいろな会議や課題があって、こんな活動をしていこうとか、議論しております。私も2019年、済州(チェジュ)島に行き、当時浜松で東海地区東海3県の青年会議所の所管をしておりました。約1万人が訪れ、経済効果として10億円ぐらいではないかと言われております。現在は2026年の誘致を目指しています。新潟県と今一騎打ち状態。10月頃には結果が出るのではないかと考えてます。

2021年6月頃からASPAC誘致しようかという声が挙がっておりまして、一番音頭をとっているのは、今年の理事長内山です。ASPACを開催したいという話が出て、そこから色々根回しをして参りました。8月の総会で、誘致に対してみな同じ方向を向いた、という理解であります。浜松で国際会議を誘致するための土壌を造成中です。東海地方初のASPACをぜひ開催したいということで市役所、商工会議所等に協力の依頼をしています。あとは、君たちはどうする、協力依頼ばかりで君たちは何をやるの? という問いかけをいただき、国内の青年会議所の中での浜松のプレゼンスを高めていくことが必要不可欠であろうと思っております。ASPAC浜松大会、実現した暁には多くの海外のメンバーが来てお金を落としていきますので、地域活性の為にぜひ皆様のご協力をいただけたらと思います。

